

中国の金融面の動向

2020年6月26日

帝京大学経済学部教授

露口洋介

1. キャッシュレス決済をめぐる動向

- 銀聯

2002年設立 85の銀行の共同設立 中国人民銀行の監督下
銀行キャッシュカード、デビットカード、クレジットカード

- アリペイ

2004年 アリババのEC決済サービスとして導入（第三者決済機関）

- ウイチャットペイ

2013年 SNSウイチャットの付属機能としてスタート（第三者決済機関）

- 網聯

2017年設立 第三者決済機関と銀行の間に立ち清算業務を統一化
中国支付協会、第三者決済機関など45社が出資

- 信聯

2018年設立 百行征信有限公司（バイハンクレジット）の通称
中国インターネット金融協会とゴマ信用など民間信用評価会社8社で設立
民間の信用情報を集中

- デジタル人民元
 - 2014年 中国人民銀行がデジタル人民元の研究を開始
 - 2016年1月 人民銀行：民間デジタル通貨の発展がすでに「中央銀行の現金発行業務と金融政策に新たな機会と挑戦をもたらしている」
 - 2020年5月 中国人民銀行易綱行長の発言（人民銀行ウェブサイト）
 - ① 深圳、蘇州、雄安、成都の4都市で試験運用を先行
 - 将来的に2022年の冬季オリンピック会場において試験運用
 - ② デジタル人民元は現金を代替
 - ③ 二層運行システム
 - ④ コントロール可能な匿名性
- 政府による、決済情報、信用情報の集中管理が進展

2. 米中摩擦と新型コロナに対応するマクロ経済政策

- 2020年全国人民代表大会政府活動報告（5月22日）

成長率目標の記載なし。

「内需拡大戦略を実施し、経済発展方式の転換を加速する。」

外需牽引→内需主導 短期にも中長期にも

- 経常収支の黒字は縮小傾向（次図）

2020年第1四半期の速報値は2076億元の赤字

今後は資本流入を確保することが重要

- 金融業の対外開放の促進

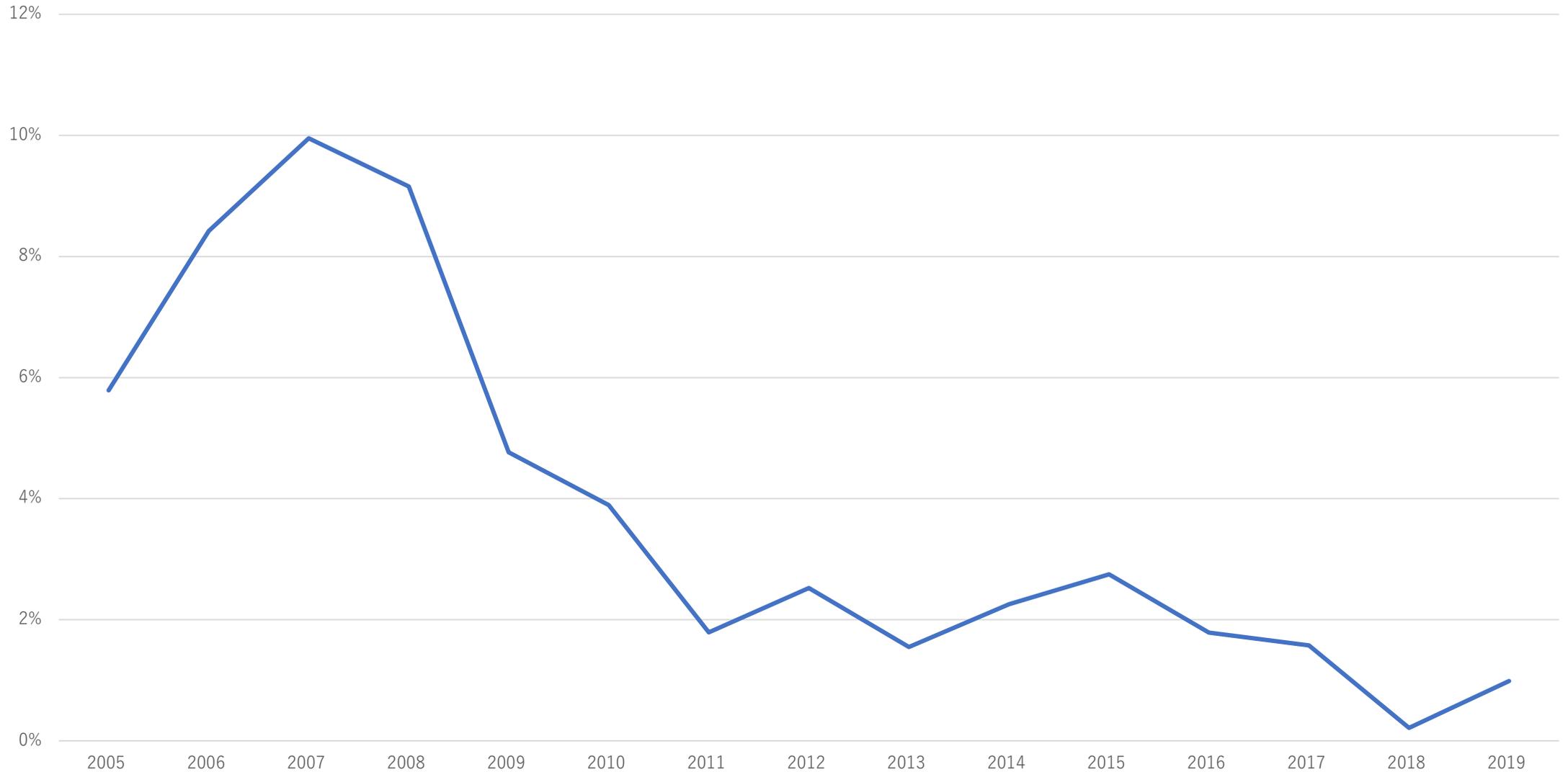
2020年1月 生命保険会社に対する外資出資比率規制撤廃

2020年4月 証券会社に対する外資出資比率規制撤廃

- 資本取引規制の緩和進展

2020年5月 適格海外機関投資家制度（QFII）、人民元建て適格海外機関投資家制度（RQFII）の個別機関投資家に対する投資限度額を撤廃

中国の経常収支対GDP比率の推移



(資料) 国家外貨管理局、IMF

3. 日中金融協力

- 2011年12月 日中金融協力合意
- 2012年6月 円－人民元直接交換市場開始
- 2018年5月 安倍総理と李克強総理の首脳会談
「日中金融協力にかかる合意」
- 2019年6月 東京証券取引所と上海証券取引所の間で上場投資
信託（ETF）の相互上場開始
- 人民元建て商品の東京市場における取引の活発化
人民元資金と人民元建て証券の同時決済システム（DvP）の整備
- 将来の可能性としての東京－上海ストックコネクト
上海－香港ストックコネクト、深圳－香港ストックコネクト、
ボンドコネクト、上海－ロンドンストックコネクト（2019年6月）